＜別紙１＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第三者評価結果報告書  ①第三者評価機関名   |  | | --- | | 特定非営利活動法人　市民セクターよこはま |   ②施設・事業所情報   |  |  | | --- | --- | | 名称：すまいるセンターみなみ保育園 | 種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く） | | 代表者氏名：木村　真富果 | 定員（利用人数）：　　　　　　　　11名（11名） | | 所在地：〒224-0033　横浜市都筑区茅ケ崎東3-5　コンフォールセンター南6号棟104号室 | | | TEL：045-511-8969 | | | ホームページ：　http://nursery.smilecrew.co.jp/hoiku/smile-center-minami-hoikuen/ | |   【施設・事業所の概要】   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 開設年月日　2012年11月19日 | | | | 経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社スマイルクルー | | | | 職員数 | 常勤職員：　　　　　　　　　　　　 5名 | 非常勤職員：　　　　　　　　　　　　 3名 | | 専門職員 | 保育士　　　　　　　　　　　　　　 6名 | 栄養士　　　　　　　　　　　　　　　　1名 | | 施設・設備  の概要 | （居室数） | （設備等） | | 保育室3室、調理室1室、事務室兼医務室1室 | マンションの一室、延床面積は68.0㎡です。 |   ③理念・基本方針   |  | | --- | | 【保育理念】  「enjoy! 子育て」  子育ては、みんなでやればもっともっと楽しくなります。  ともに分かち合うことで、子どもの可能性がぐんと広がります。  「think! 生きる力」  子どもが発する「なぜ？」「どうして？」を大切にし、失敗を恐れずに行動する気持ちを育てます。  子どものありのままを受け止め、見守ることで、自ら考え生み出していく力を培います。  「natural! 健康な身体」  自分が自分らしくいられるように、【みる・きく・ふれる・あじわう・かんじる】  五感、直感、感性を大切にします。  【保育方針】  　＊働く保護者の視点に立ち、子育てを共に考えます  　＊子どもが自主的に考え、行動できる姿を目指します  　＊心身ともに健康で、自然体でいられる環境を整えます  【保育目標】　　＊健康で明るい子ども　　＊友達と仲良く遊べる子ども　　＊心豊かな子ども  　　　　　　　　＊意欲と思いやりがある子ども　　＊強く生き抜く事ができる子ども |   ④施設・事業所の特徴的な取組   |  | | --- | | ・子どもの日々の姿を、連絡帳だけでなくドキュメンテーションを活用し、園の様子はブログを活用して外部にも発信しています。  ・音楽に親しめるように、季節の歌やリズム体操を活動に取り入れています。  ・外部から英語講師を招き、英語に触れる活動をしています。  ・食材に触れたり、野菜を育てて給食で提供したりして食に繋がる活動をしています。 |   ⑤第三者評価の受審状況   |  |  | | --- | --- | | 評価実施期間 | 2021年 6月 21日（契約日）～　2022年 3月 24日（評価結果確定日） | | 受審回数（前回の受審時期） | 1回 | |

⑥総評

|  |
| --- |
| ◆特に評価の高い点  1.子ども一人ひとりを尊重した保育を通じて、子どもの想像力を育んでいます  子どもが自分らしく成長できるよう職員が子どもの遊びを決めるのではなく、子ども自身がやりたいことをできる保育に力を入れ実践しています。例えば、日々の散歩では気が向かない子どもを無理に散歩に連れ出すのではなく、職員を配置して園に残って子どもが好きな遊びができるよう支援しています。ミニカーや電車のおもちゃで遊びたい子には保育室を広く使って、道路や線路を大きく作ることができるようにしています。0歳児など遊びを選べない時期は、日頃の状況から職員が遊びを提案し、興味を持って遊び込めるよう支援しています。また、途中で別の遊びに興味を持ったときは気持ちを尊重して環境を整え、外に出たくなれば散歩に出ています。  子どもを尊重した保育を継続することで、想像力や考える力を身につけ、自主性を持って友だちと一緒に遊ぶことができるようになる姿などが見られます。今後も職員スキルを向上させながら取り組みを継続する姿勢です。  2.さまざまな体験を通して、子どもの食への関心が高まるよう取り組みをしています  栄養士と保育士が協力して年間食育計画を作成しています。2歳児クラスを中心に夏野菜を栽培するなど食への関心を高める取り組みをしています。また、野菜を食材にして調理して食べる経験もしています。例えば、今年度10月は「かぼちゃ」をテーマに、0歳児クラスは「かぼちゃをつぶす感触を楽しむ」、1歳児クラスは「かぼちゃに種のあることを知り、においや感触に触れる」、2歳児クラスは「かぼちゃの形状や断面の面白さを知り、感触を楽しむ」という体験をしたり、11月には大根を干して切り干し大根を作り、干した大根の形や色や匂いが変化することを体験するなど、毎月異なったテーマを設けて子どもが様々な体験ができるよう食育計画を作成しています。そのほかにも、「お弁当DAY」には近くの公園に行って友だちとお弁当を食べたり（0歳児は保育室でピクニックごっこ）、午前中は体をたくさん動かしてお腹を空かせてから給食を美味しく食べるといった体験もしています。  3.子どもの状況に応じて保育室の環境を柔軟に変更するなど、子どもが快適に過ごせるよう工夫しています  0歳児クラスと1歳児クラスの保育室はワンフロアになっていますが、落ち着いて過ごせるよう、また遊びの内容に応じて2つに分けて使用したり、コーナーも設けたりしています。別室になっている2歳児の保育室とも近いため、子どもがほかの場所に移動したいときは自由に行き来して年齢の違う子ども同士が一緒に遊んだり関わりを持って過ごしています。また、洗面所やトイレは1箇所ですが、職員同士が連携して子どもの状況に目を配りながら、子どもの生活に支障がないよう工夫して使用しています。  4.保護者との良好なコミュケーションを図り、高い満足度を得ています  小規模な園の特性を生かし、職員と保護者が密に連携しています。登降園時のコミュニケーションに加え、連絡帳でも細かいやり取りが行われていて、子どもの状況がしっかりと共有されています。保護者会や親子行事でも、保育の内容や子どもの姿を知ってもらえるよう努めているほか、ドキュメンテーションを活用して日々の子どもの様子を保護者に伝えています。保護者から相談があるときはていねいに聞き取り、子育てのアドバイスをするなど支援にも努めています。  ◆改善を求められる点  1.単年度事業計画と中長期事業計画を作成し、連動させて活用することが求められます  本年度から作成に着手している単年度事業計画は作成途中で活用には至っておらず、本年度事業計画の完成、次年度の事業計画の作成に向けた取り組みが期待されます。また、園運営に関する中長期計画についても作成し、単年度事業計画と中長期計画の位置づけを明確にし、それぞれの内容が連動した計画にすることが求められます。さらに、計画の具体的な成果を設定、推進状況の確認、計画の実施後に振り返りや評価を行う体制づくり、次期計画への反映方法を確立し、職員と共有して意見を反映する仕組み作りへの取り組みも期待されます。  2.園経営に関する情報の開示が求められます  保育所の理念や基本方針、保育の内容、などは法人のホームページや園パンフレットなどを通じて公開されています。しかしながら、事業計画、事業報告、予算、決算情報については公開されていないため、公開に向けた取り組みが求められます。  3.地域の福祉ニーズの充足や地域防災対策などについて、地域との連携が求められます  地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづいて自主的に公益的な事業や活動を行うこと、防災対策や被災時における地域支援については、在園児保育の水準の維持、子どもの安全性確保を最優先にする体制であるため取り組みが難しいと考えています。今後は、園単独ではなく法人や系列園と協働して地域支援の方法を検討するなど、可能な範囲での取り組みが期待されます。また、災害時に園内で被災した場合には地域の支援を要することなども踏まえて、園独自の防災計画を作成することが望まれます。さらに、防災に関して行政をはじめとする関係機関との望ましい連携のあり方を検討し、対策を講じることが望まれます。 |

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

|  |
| --- |
| 今回、初めて受審いたしました。日頃は気づかない改善すべきところが明確になり、進む方向がはっきり致しました。内側に向かって保育の質を良くすることを考えがちですが、外に向かって発信することや、地域の中で育てていただくことの重要さを痛感いたしました。  また、別の視点で見ていただいて保育の内容を評価していただけたことは、保育士たちにとっても自信と喜びになりました。  最後になりましたが、保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後とも一歩ずつ向上して参ります。  株式会社スマイルクルー  すまいるセンターみなみ保育園 |

⑧第三者評価結果

　別紙2のとおり